

参考 1：保存形式の選択：Word 文書と「リッチ テキスト形式」の文書

「Word 文書」形式は Word という特定のソフトウェアに特化したファイル形式であり、Word 以外のソフトウェアで利用したり、他人に渡して使ってもらう際に問題が発生することがある。相手が Word 2003 を使っている場合は Word 文書を安全に渡せるが、以下のような場合には、Word 文書を別のファイル形式で保存しな³ など注意する必要がある：

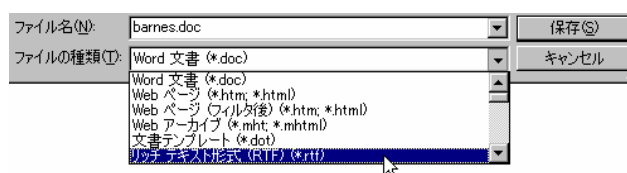
- Word を使っていない相手に文書ファイルを渡す場合。
- 異なるバージョン、または異なる OS、さらには異なる言語バージョンの Word を使っている相手に文書を渡す場合。同じ Word 文書なのに正しく読み込めないという互換性の問題が発生することがある。

Word 文書をやりとりする場合のヒント

- ✓ Word 文書を相手に配布する際に、自分の使っている Word のバージョン（大学の PC の場合は「日本語版 Word 2003 SP-2」）をはっきり示す（[ヘルプ]→[バージョン情報]で確認しよう）。
- ✓ 相手が使っている文書編集ソフトの種類、バージョン、OS を確認する。
- ✓ ソフトウェアに違いがある場合には、ファイルとともに印刷した文書を渡し、相手に文書が正しく読めているかチェックしてもらう。

レイアウト付き文書の形式のうち、Word 文書よりも汎用性の高い形式として、「リッチ テキスト形式」(Rich Text Format, 拡張子は .rtf, 以下 RTF) がある。RTF は Microsoft の提供している汎用性の高い文書形式で、Word で簡単に作成することができるほか、Word 以外の多くのワープロソフトで開き、編集することができる。

1. [ファイル]→[名前を付けて保存]を選択
2. 「ファイルの種類」を「リッチ テキスト形式」にする。
3. 「保存」ボタンを押す。



注意 1： Word から RTF を作成した場合、同じような内容のファイルが Word 形式と RTF の 2 つできることになる。この状態で RTF 文書をあらたに編集してしまうと、**どちらがオリジナルかわからなくなってしまう**。無用な混乱を避けるためにも、RTF への変換は、元の Word 文書でのテキスト編集が完了してからおこない、追加編集は行わないようにする。

注意 2： RTF は、Word 文書よりもファイルサイズが大きくなるので注意。Word 文書が大きければ大きいほど、RTF 文書のファイルサイズも雪だるま式に増す（300KB 程度の Word 文書を RTF にすると、4MB 近くになる！）。

注意 3： RTF にもバージョンがある。新しいバージョンの RTF で作成された文書を古い RTF をサポートするソフトウェアで読むと、意図したとおりに表示されない場合がある。

注意 4： Word 2000 以降、Word は全ての言語のバージョンで同じ基本プログラムを使っている。従って、Word 2000 以降（Word 2000, 2002, 2003）の Windows 版の Word を利用する場合は、バージョン番号が同じであれば、英語版、ドイツ語版、中国語版など他の言語のバージョンでも日本語版 Word で作った Word 文書をそのまま開ける可能性が高い。なお、昨年まで大学 PC に入っていた Word 2002 と今年度から新たに導入されたシステムの PC に入っている Word 2003 は互換性が非常に高い。

備考： Word では、RTF のほかに他のワープロソフトの文書形式を選んでファイルを保存することができる。また、古いバージョンや他の言語版の Word 形式を選ぶこともできる。

³ この作業をファイル形式の「変換」convert という。

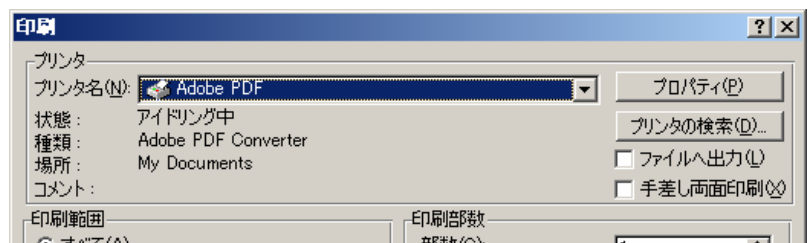
参考 2 : PDF (Portable Document Format)

PDF とは

- Adobe Systems が開発した高性能の文書表示形式である。
- PDF 文書閲覧用のブラウザ (Adobe Reader, Adobe Acrobat Reader) が無償で提供されており、さまざまな OS で利用できる。
- プラグインをインストールすることで WWW ブラウザから PDF 文書を閲覧できる。
- ワープロなど他のバイナリ形式の文書データに比べ、PDF 文書はどの OS でも全く同じように閲覧が可能であるという点で優れており、1993 年に誕生後、わずか 10 年の間に電子文書のやり取りのスタンダードとして急速に普及した。

PDF 文書の作成

- PDF 文書の閲覧用ソフト Adobe Reader (最新バージョンは 7.0) は無料だが、文書データを PDF に変換するためのツールは別に用意しなければならない。
- Adobe が開発、販売している Adobe Acrobat (最新バージョンは 7.0) は PDF 作成の最も一般的なツールだが、比較的高価。ほかにも有料・無料のソフトウェアがいくつかある (ソースネクストの「いきなり PDF」やエー・アイ・ソフトの「pdMaker for Office」等。これらの多くは Adobe の Acrobat より機能が限定されている)。
- 大学には PDF 作成用ツールとして Acrobat Standard バージョン 7.0 がインストールされており、学生も使用できる。なお、大学 PC に導入されている Acrobat はアカデミックライセンスなので、大学の活動以外の目的には使用できないので注意。
- Adobe Acrobat はアプリケーションから「印刷する」ことで PDF 文書を生成する (右図)。
- また、Word などの Office 製品、また Internet Explorer などには、簡単に PDF 文書を作成できるツールバーが付属している。



- その他、Acrobat 関連のソフトウェア
 - ✓ 作成した PDF 文書は、Acrobat で編集することにより、文書情報の編集やセキュリティ設定など、PDF 文書のこまかな設定をおこなうことができる。
 - ✓ PDF 作成用の上級者向けツール Acrobat Distiller を使うとインターネット用の軽いデータから、デジタル写植に使う高精度データまで、詳細な指定をおこなった PDF 文書を作成できる。